

2023年4月10日

報道機関 各位

RECNA ポリシーペーパーNo. 17 『核兵器問題の主な論点整理：国際政治・安全保障編』 刊行について

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）は、時宜を得たテーマについて専門家によるポリシーペーパー（論考集）を発表してまいりました。RECNA は本日、日本学術振興会の科学研究費助成（基盤研究 B）による研究プロジェクト「安全保障を損なわない核軍縮」（研究代表者：長崎大学・吉田文彦）の成果の一環として、ポリシーペーパーNo.17「核兵器問題の主な論点整理：国際政治・安全保障編」を刊行いたしました。

2021年1月に核兵器禁止条約（TPNW）が発効したことは、被爆地を含め、世界の多くの国々で「核のない世界」を望む人々にとって歴史的な一歩でした。しかしながら、核抑止依存諸国（核を持つ国、核の傘国）は TPNW に反対の、あるいは慎重な態度をとり続けています。他方で、ウクライナを侵略したロシアが「核の恫喝」を繰り返して核戦争リスクを高め、米国との新戦略兵器削減条約（新 START）の履行停止も宣言しました。米国と中国の対立関係も強まって、核軍縮の行方はすっかり視界不良に陥っています。

そうした中で、本研究プロジェクトを進めてきました。研究チームはここ2年余りにわたって、核兵器や核抑止などに関わる主要な論点を整理してまいりました。

その成果を研究グループ外でも活かしてもらうのがよいのではないかと考えて、RECNA よりポリシーペーパーとして刊行することにしました。研究プロジェクト全体では、多岐にわたる論点を国際政治・安全保障・核軍縮、核不拡散、国際法の3分野に分けて考察してきましたが、ここではまず、核兵器と国際政治・安全保障・核軍縮の分野の主な論点に関する論考集を RECNA ポリシーペーパーNo.17 として刊行いたします。

内容は RECNA のホームページから御覧いただけます

URL : <https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/bd/files/REC-PP-17.pdf>

記

- 刊行物：RECNA ポリシーペーパーNo.17『核兵器問題の主な論点整理：国際政治・安全保障編』
- 刊行日：2023年4月10日（月）

【本リリースに関するお問い合わせ先】

核兵器廃絶研究センター総務係 TEL 095-819-2164/ FAX 095-819-2165

E-mail recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp